



松小だより

11月号

高松市立松島小学校

「～ピンチはチャンス～」

一雨ごとに冷え込み、学校前の街路樹も色づき始め本格的に秋が深まってきました。

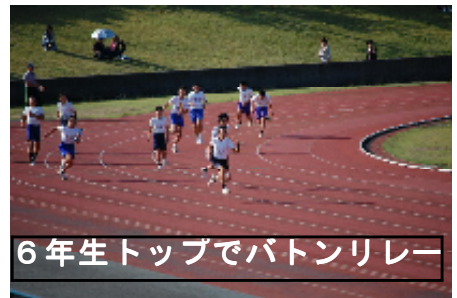
今月は、終業式・始業式などの多くの行事があり、あと10月でした。

振り返りますと、3日間の休みをはさんでの始業式。気持ちを切り替えて取り組めるようにということでウェルカムガーデンで式をしました。6年生による2学期頑張れエールの呼びかけに対して、各学年が答えるという形で進めました。当日は秋晴れ。臨時に運んできたピアノによる伴奏で、すがすがしい気持ちで校歌を歌うことができました。また、始業式で壮行会をしてもらった陸上記録会参加者。記録会当日は参加者のほぼ全員が自分の記録を伸ばすことができ、応援のマナーも学校代表としてふさわしものでした。毎日の練習の結果、11月3日丸亀競技場である県大会に高松市代表として本校から5名選出されました。

県大会当日、6年リレーは予選6組で1位となり、決勝レースに出場しました。おめでとう！！



ウェルカムガーデンで始業式



6年生トップでバトンリレー



3年生松島コミュニティーでの発表

文化の面でも、3年生は、松島コミュニティであった松島地区文化祭でドレミの歌など歌いました。2階ホールは満員の状態で、子どもたちは日頃の元気さで曲にのって体を動かしながら楽しく歌うことができました。6年生は、初の「高一祭」に築地小・新塩屋町小と一緒に出演し、合同で発表する予定でしたが、中学校でインフルエンザが流行していたのと修学旅行を間近に控えているということもあり出演を取り止めました。残念ではありましたが、そのかわりに「松っ子秋祭り」オープニングである各学年の発表内容紹介の場面で歌声や演奏を披露することにしました。

音読カップ・学級委員任命式も、多目的教室で開催予定でしたが、全体での集会は控えようということでテレビ放送で実施しました。学級で選ばれた児童一人一人がテレビにアップで映り、自信をもって読み上げている姿がよく分かったのと、みらい科読み聞かせグループの発表劇も内容が分かり易く、教室で笑い声が響いていました。

早め早めの対応のおかげで、27日の校外学習や6年生最大の行事である修学旅行も無事に実施することが出来ました。詳しくはホームページの修学旅行速報（6年保護者に旅行中メール配信した内容に写真を追加したもの）をご覧ください。この2ヶ月あまり、陸上練習や校外学習等の実施のため、毎日体温を計るなど、お子様の健康管理で大変お手数をおかけしています。おかげで、子どもたちも自分の体温を気にするなど、自分の健康管理をきちんとしようという態度が身についてきました。インフルエンザについては、幼小中学生が感染の割合が非常に高いなど、これからも気が抜けない日々が続きますが、感染防止、拡大防止等に努力し正常な教育活動ができるよう努力して参ります。ご協力よろしくお願いいたします。

「読書の秋～読書週間に入りました～」

全国では10月27日(月)から11月9日(月)が読書週間となっていますが、本校では11月1日(日)から11月30日(月)までを読書月間としています。今年度より読書活動を特に充実するという事で、朝の活動に読書を取り入れています。現在では、その活動にも慣れ、開始時間までに自分の読みたい本を準備し、静まったなかで読書に集中することが出来ています。読書月間では、今年度も通常読書活動に加え、読書会を開くなど各学級で工夫して児童の読書活動の充実を図る予定です。ご家庭でも是非この機会に親子読書等の取り組みをお勧めいたします。

私の今年のお勧めの本は、子どもたちには、ベストセラーである「バッテリー」(あさのあつこ)です。説明が必要ないほど有名ですね。もう一冊は、カメラマンである今森光彦さんの本。講演をお聞きしファンになりました。美しい写真とエッセイが自然の素晴らしさを伝えてくれます。代表作品は「雑木林のコレクション」

「里山いきもの図鑑」(学校の図書室にもたくさんあります)

保護者の皆さんにお勧めしたいのは「天国で君に逢えたなら」飯間夏樹著(いいま なつき)。海外に家族で移住し、世界的プロウインドサーファーとして大活躍する一方、ショップを経営したり、雑誌に寄稿したりしていました。ところが、末期ガンで余命半年を告げられ、日本に帰り自暴自棄になるなか、作家活動に惹かれ書き出した第一作。あらすじは、「ガ



ン患者の心の叫びを手紙に起こす“手紙屋”を開いた精神科医・純一。サーファー、放蕩を尽くした眼科医など、一癖ある面々が家族や恋人への手紙作成依頼に訪れる。我がままな患者達に翻弄されるながら作成した手紙には、美しく壮絶な生きざまが綴られていた。」



自らの生死の狭間で書き出された、奇跡のような物語。涙なしには読めませんが、人生とは?家族とは?等、これからの自らの生き方を示唆してくれると思います。同名の映画やテレビ番組があつたようですが、イメージが壊れるような気がして見ていません。お勧めします。